



TOSOH

SDS No. A0040000100

安全データシート (SDS)

作成日 2007年12月18日
改訂日 2021年11月24日
<JIS 2019>

1. 化学品及び会社情報

製品名 中性無水芒硝
 会社名 東ソー株式会社
 住所 東京都港区芝 3 - 8 - 2
 担当部門 本社 環境保安・品質保証部
 担当者(作成者) 環境保安・品質保証部長
 電話番号 03 - 5427 - 5127
 緊急連絡先 東ソー総合サービス(株) 防災センター
 (夜間・休日) 電話:0834-63-9822 FAX:0834-63-9964
 お問い合わせは最終ページの担当窓口をお願いいたします。
 推奨用途 一般工業品

2. 危険有害性の要約

GHS分類

爆発物:	区分に該当しない
可燃性ガス:	区分に該当しない
エアゾール:	区分に該当しない
酸化性ガス:	区分に該当しない
高圧ガス:	区分に該当しない
引火性液体:	区分に該当しない
可燃性固体:	区分に該当しない
自己反応性化学品:	区分に該当しない
自然発火性液体:	区分に該当しない
自然発火性固体:	区分に該当しない
自己発熱性化学品:	区分に該当しない
水反応可燃性化学品:	区分に該当しない
酸化性液体:	区分に該当しない
酸化性固体:	分類できない
有機過酸化物:	区分に該当しない
金属腐食性化学品:	分類できない
鈍性化爆発物:	区分に該当しない
急性毒性	
経口:	区分に該当しない
経皮:	分類できない
吸入(気体):	区分に該当しない
吸入(蒸気):	分類できない
吸入(粉じん、ミスト):	分類できない
皮膚腐食性/刺激性:	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	区分2

感作性	
呼吸器:	分類できない
皮膚:	区分に該当しない
生殖細胞変異原性:	区分に該当しない
発がん性:	分類できない
生殖毒性:	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	区分1
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	区分に該当しない
誤えん有害性:	分類できない
水生環境有害性	
短期(急性):	区分に該当しない
長期(慢性):	区分に該当しない
オゾン層への有害性:	分類できない

GHSラベル要素



危険

危険有害性情報:
 強い眼刺激
 臓器の障害(既知の部位は11.有害性情報に明記する)

注意書き:
 安全対策
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後は手をよく洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 保護眼鏡/保護面を着用すること。
 応急措置
 特別な処置が必要である。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 保管
 施錠して保管すること。
 廃棄
 内容物や容器を、国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:
 単一製品
 化学名又は一般名:
 無水硫酸ナトリウム
 別名:
 中性無水芒硝
 濃度又は濃度範囲:

化学名又は一般名	略称	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号		CAS No
			化審法	安衛法	
無水硫酸ナトリウム	-	99.5%以上	(1)-501	既存物質	7757-82-6

化学式:

<無水硫酸ナトリウム>
Na₂SO₄

法規制対象成分:

成分	安 衛 法	PRTR 法
無水硫酸ナトリウム	表示対象物/通知対象物に該当しない	指定化学物質に該当しない

4. 応急措置

吸入した場合:

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合:

多量の水および石鹸で洗い流す。水泡、痛みなどの症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合:

直ちに清浄な水で洗眼する。
すぐに痛みがなく視力に影響がなくても障害が現れることがあるので、必ず医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合:

直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候及び症状:

特になし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項:

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項:

特になし

5. 火災時の措置

適切な消火剤:

水噴霧、粉末消火薬剤

使ってはならない消火剤:

特になし

火災時の特有の危険有害性:

刺激性もしくは有毒なフェームやガスを放出する可能性があるので注意する。

特有の消火方法:

消火作業は、風上から行う。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置:

消火活動では、耐熱手袋、ゴーグル型保護眼鏡、空気呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置:

作業の際にはゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、防じんマスクを着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じんを吸入しないようにする。

環境に対する注意事項:

流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

二次災害の防止策:

特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取り扱いをしてはならない。

局所排気・全体排気:

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

注意事項:

特になし

安全取扱注意事項:

特になし

接触回避:

特になし

衛生対策:

作業後、手をよく洗い、うがいをしてから、飲食等をする。

保管

技術的対策:

直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。

防湿に留意する。

安全な保管条件:

特になし

安全な容器包装材料:

適切な容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:

密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

近くに手洗い、洗眼などの設備を設ける。

管理濃度:

設定されていない

許容濃度:

設定されていない

保護具

呼吸用保護具:

防じんマスク、送気マスク等

手の保護具:

ゴム又は樹脂製の手袋 (不浸透性)

眼/顔面の保護具:

ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具：
保護衣および保護長靴、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	固体(粉末)
色：	白色
臭い：	無臭
融点/凝固点：	884
沸点：	データなし
初留点：	データなし
沸騰範囲：	データなし
可燃性：	データなし
燃焼又は爆発範囲(下限)：	データなし
燃焼又は爆発範囲(上限)：	データなし
引火点：	データなし
自然発火点：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	6~8(5%水溶液)
動粘性率：	データなし
溶解度：	不溶(エタノール) 16g/100g(20)(水) 33.2g/100g(40)(水)
n-オクタノール/水分配係数：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び/又は相対密度：	2.698(真比重)(比重)
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性：	特になし
化学的安定性：	通常の保管・取扱条件で安定。
危険有害反応可能性：	通常の保管・取扱条件で安定。
避けるべき条件：	特になし
混触危険物質：	特になし
危険有害な分解生成物：	特になし

11. 有害性情報

急性毒性：

無水硫酸ナトリウム	> 10,000mg/kg	経口ラット(LD50)	SIDS
-----------	---------------	-------------	------

皮膚腐食性/刺激性：

無水硫酸ナトリウム OECD TG 404 に準拠したウサギを用いた皮膚刺激性試験で非刺激性 (Not irritating) と判定されている。本物質は皮膚刺激性を示さず、眼に対して軽度の

刺激性を示す。また、感作性はほとんどないことから、「区分に該当しない」とした。(NITE 分類結果(2019))

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:

無水硫酸ナトリウム OECD TG 405 に準拠したウサギを用いた眼刺激性試験で軽度刺激性と判定されており、全ての所見は7日後以内に回復したことから、区分 2B とした。(NITE 分類結果(2019))

呼吸器感作性又は皮膚感作性:

無水硫酸ナトリウム モルモットを用いた皮膚感作性試験 (マキシマイゼーション法) の OECD TG 406 において、皮膚反応は認められず陰性と結論されている。本物質は皮膚刺激性を示さず、眼に対して軽度の刺激性を示す。また、感作性はほとんどないことから、「区分に該当しない」とした。(NITE 分類結果(2019))

生殖細胞変異原性:

無水硫酸ナトリウム in vitro では、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の染色体異常試験で陰性の報告がある。食品安全委員会による評価では、硫酸のカリウム塩を被験物質とした試験においていずれも陰性の結果が得られていることから、総合的な判断として、添加物「硫酸カリウム (7778-80-5)」は生体にとって特段問題となる遺伝毒性はないと結論付けられている。以上のことから、本物質はガイドランスにおける分類できないに相当し、「区分に該当しない」とした。(NITE 分類結果(2019))

発がん性:

データなし

生殖毒性:

データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露):

無水硫酸ナトリウム ヒトにおいて医療目的で緩下剤として約 300 mg/kg、最大限 20 g の用量で経口投与により使用されたが、激しい下痢と腹部痙痛を生じるために、使用されなくなりつつあることから、区分 1 (消化管) とした。(NITE 分類結果(2019))

特定標的臓器毒性(反復ばく露):

無水硫酸ナトリウム 本物質の粉じん に 2 ヶ月 ~ 31 年間ばく露された男性作業員 119 名を対象とした横断研究において、全例の尿中から本物質が 2.2 g/L を超える濃度で検出され、30%の作業員で 3 g/day を超える無機硫酸塩排泄がみられた。作業員への粉じんばく露で唯一みられた症状は鼻の刺激と鼻水であった。雄ラットを用いた 4 週間混餌投与試験で、最高用量の約 2,000 mg/kg/day まで毒性影響はみられなかったことから、吸入及び経口経路について「区分に該当しない」とした。(NITE 分類結果(2019))

誤えん有害性:

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類:

データなし

甲殻類:

無水硫酸ナトリウム	3150.21mg/L(48h)	ネコゼミジンコ属	AQUIRE
-----------	------------------	----------	--------

藻類:

無水硫酸ナトリウム	1584.583mgL(72h)	セレナストラム (EC50)	AQUIRE
-----------	------------------	----------------	--------

長期間:

無水硫酸ナトリウム 無機化合物につき環境中動態が不明であるが、藻類(セレナストラム) 72 時間 NOEC = 1060 mg/L SO₄ (NaSO₄ 換算値: 1265 mg/L)、甲殻類(ニセネコゼミジンコ) 7 日間 NOEC = 610 mg/L SO₄ (NaSO₄ 換算値: 728 mg/L)、魚類(ニジマス)の 31 日間 NOEC = 205 mg/L SO₄

(NaSO₄ 換算値:245 mg/L)であることから、「区分に該当しない」とした。
(NITE 分類結果(2019))

残留性・分解性:

データなし

生体蓄積性:

データなし

土壤中の移動性:

データなし

オゾン層への有害性:

データなし

他の有害影響:

知見のない項目が多いので、一般環境内への廃棄は行わない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

汚染容器及び包装:

使用済み包装容器は内容物を完全に除去した後、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国内規制:

特になし

特別の安全対策:

特になし

輸送の特定の安全対策及び条件:

異物混入、水漏れ及び直射日光を防ぐためシートを掛ける等する。

バラ積みする場合は、荷崩れを防ぐため出来るだけ低くするか、固定する。

15. 適用法令

<無水硫酸ナトリウム>

水質汚濁防止法施行令第3条 水素イオン濃度等の項目

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

16. その他情報

引用文献

<無水硫酸ナトリウム>

HSDB :Hazardous Substances Data Bank

Registry of Toxic Effects of Chemical Substances, STN INTERNATIONAL

OECD SIDS レポート(SIDS Initial Assessment Report)

GHS 分類対象物質一覧～GHS 分類結果(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE)

改訂履歴:

0.0	2007年12月18日
0.0	2010年10月25日
2.0	2021年11月24日

記載された内容は、入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、含有量、物理的・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

記載された注意事項は通常的な取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、ご使用者の責任において、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

重要な決定等にご利用される場合は、文献等をよく検討されるか、試験により確かめられることをお勧めします。

周囲の住民、交通機関等に影響を及ぼす可能性のある場合は、関係官庁及び東ソー(株)の緊急連絡先へ通報してください。

本SDSの改訂版を受領した場合は、旧SDSを廃棄下さるようお願いいたします。



お問い合わせは下記担当窓口をお願いいたします。

東ソー株式会社

化学品事業部

03-5427-5153

東京本社	〒 105-8623	港区芝 3-8-2	TEL 03-5427-5153
大阪支店	〒 541-0043	大阪市中央区高麗橋 4-4-9	TEL 06-6209-1945
名古屋支店	〒 460-0008	名古屋市中区栄 1-2-7	TEL 052-211-5491
福岡支店	〒 810-0001	福岡市中央区天神 1-13-2	TEL 092-781-0481
仙台支店	〒 980-0014	仙台市青葉区本町 1-11-1	TEL 022-266-2341
山口営業所	〒 746-0015	周南市清水 1-6-1	TEL 0834-63-9888